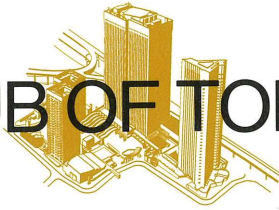




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: MANKIND IS OUR BUSINESS

「ロータリー：人類が私たちの仕事」

2001～2002年度・国際ロータリーテーマ/リチャード D.キング会長

「ロータリーの心を伝えよう—家庭に、職場に、地域に—」

2001～2002年度・東京新南ロータリークラブテーマ/大日方 真会長

本日の例会 2002年4月12日 第742回例会

卓話

「日本マクドナルドの環境活動について」

日本マクドナルド株式会社 田子 公道氏
社長室環境担当部長

先週報告 4月5日 第741回例会

◎会長報告

- ①当クラブ15周年記念誌「15年の歩み」が完成致しました。会員の皆様にお届けします。
- ②1月4日、デンバーで開催された4地区夕食会で、世界で初めてのインターネットによるロータリークラブの創立が認可されました。このサイバーロータリークラブは、「インターネットで超我の奉仕」をテーマに掲げ、1日24時間、1年365日、<http://www.rotary5450.org/eclub>で例会を行います。出席は、特別な方法で計られ、現在のクラブでの例会出席に代わり、3ヶ月間に平均最少13時間の社会奉仕が要求されます。現在のロータリークラブから25マイル以遠に住むとか、自力で移動するのが困難なため、現在要求されている出席規定に合わせられない人達のために出来たものです。

◎社会奉仕員会報告(村山委員長)

風の子会主催障害者は外に出よう運動「第2回大江戸線deハイク」は5月26日(日)に開催です(6月2日が予備日)。ご家族の参加も歓迎しますので是非ご参加下さい。申し込み締め切りは4月19日(金)です。

◎慶事披露 誕生日祝/入沢頼二君(4月9日)

100%出席祝/高須康有君(13年)、荒木昭文君(11年)、吉岡琢磨君(10年)、小杉修造君(5年)、庄司泰典君(3年)

◎出席報告

会員68名/出席49名・欠席19名(出席規定免除者9名) ビジター2名

次週予告 2002年4月19日 第743回例会

卓話予定

「広告表現雑感」

株式会社キャップ・クリエイティブ代表取締役
当クラブ会員 関 征春君

第5回クラブ協議会

「新会員の期待にどう答えるか —クラブ運営の活性化」
(例会後13:40～15:00)



4月5日/14件36,000円

2001～2002年度累計1,357,000円
多額の御寄付を有難うございました。

伯井隆義/イニシエーションスピーチをやらせて戴きます。どうぞ、よろしく。吉岡琢磨/伯井さん、イニシエーションスピーチを楽しんでいます。また、10年皆勤の私を褒めてあげたいです。ありがとうございます。高須康有/13年間100%出席することが出来ました。今後もよろしくお願いします。荒木昭文/皆様のおかげで11年間皆勤することが出来ました。小杉修造/おかげさまで5年間皆出席が出来ました。庄司泰典/3年皆勤ありがとうございます。長いような短いような。入沢頼二/誕生祝ありがとうございます。青野信次/岩上さん、このたびはご愁傷様でした。伯井さん、本日は楽しみにしています。開発英基/ナイジェリアの女性の方では皆様に大層お世話になりました。伯井さん、本日のスピーチ楽しみにしています。福島賢哉/伯井さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしています。青野さんご苦労様です。ジョン・チャヌ/初めての「ご来客紹介」をさせていただきます。小杉眞史/新年度が始まりました。景気の回復を切に望みます。西澤御大、ご苦労様です。青木政明/いつも欠席で申し訳ありません。西澤正雄/星野阪神が強いですね。青野さん、先般かわってもらって有難うございました。というわけで、本日ニコニコ当番です。

4月定例理事会議事録

日時 2002年4月5日例会後13:40～15:00
場所 東京全日空ホテル 1F かげろう
出席者 大日方、谷村、青野、清原、村山、島田、吉田(用)、西澤、新保、吉岡 (順不同・敬称略)

決議事項

1. 退会希望の件/柴田光彦君
転勤のため同君の退会を2002年3月31日で承認。
2. ロータリー財団への寄付について、年次寄付\$2,000(\$800済) 恒久基金寄付\$2,000とする。
3. 次年度(2002～03年度)地区国際親善委員に、山根一剛君を推薦。
4. 日帰りバス旅行(4/13)〔親睦活動・職業奉仕・環境保全委員会共催〕の参加はメイクアップ扱いとする。

報告事項

会長報告/①千代田グループガバナー補佐よりの「報告書」の件
②5月より次年度と合同理事会となります。各委員長は次年度の各委員長へ引き継ぎをお願いします。
幹事報告/第5回クラブ協議会(4/19)新会員よりの提案について
会計報告/3月末
社会奉仕委員会報告/地区環境フォーラム(5/11)への参加要請の件
親睦活動委員会報告/①親睦ゴルフ会(6/4)開催の件
②日帰りバス旅行(4/13)参加者30名
③歌舞伎観劇会(5/15)参加者24名
④最終例会・打ち上げ会/手作りの音楽会を開催。

「私が会社生活から学んだこと」

東新ビルディング株式会社

代表取締役社長

当クラブ会員 伯井 隆義



私は現在、電力会社のグループ会社の経営を任されています。社長といえ、聞こえは良いのですが、転勤を重ねてきた経歴の最後の職場に在籍しているとも言えます。会社生活で学んだことを「組織の力、怖さ」そして「教育の場としての会社」の2つのテーマに絞ってお話したいと思います。

電力会社は株式会社でありながら、未だに半官半民と言われることがあります。それは、生活や生産活動に不可欠の電力を公平に供給する義務があり、そのため法の下、社内の規程基準を定めて、行政と同じようにサービスを提供してきたことによると思われます。完成度の高い官僚組織が構築され、社長から第一線従業員まで、それぞれの役割を果たすという形の中で長く経営が行われてきたのです。

組織において人々は、自己の役割に従うことと、自らの利害・倫理観に従うことの矛盾を克服しつつ行動するのが普通ですが、少なくとも私の場合は役割を優先することを圧倒的に求められたように記憶しています。管理者は指示し、部下はそれに従うわけですが、部下が上司の指示に反論し、聞き入れられなければ、従わないで実行しないことも可能です。しかし、実際には極めて困難です。評価と人事の権力を管理者が持っているからです。

私は、健全な社会を成り立たせるためには、家庭でも社会でもそれぞれ担うべき役割を果たすことが大切であると思います。我が国の現状は、個性重視の戦後教育や軍隊経験の機会がないなどの理由で、我がまま勝手が横行しておりますが、会社は、従業員に対して、権利・義務の有様を体験的に教えてきたと思います。

次に「教育の場としての会社」ということですが、入社後6ヶ月の新任社員研修に始まって、定年前の生涯設計研修まで、大企業と言われる企業は驚くほどの熱意で社員教育に取り組みました。研修とは別に、終身雇用かつ家族的経営の中で、尊敬すべき先輩の言葉、立居振舞からも学ぶことができました。企業文化と言われるものの中から使命感も倫理観も自然に身についたのです。

アメリカに始まったリストラやアウトソーシングによる企業再生の波は今、我が国においても盛んに行われています。それは、長年守り続けてきた組織の破壊と社員教育の放棄という結果を招いています。組織を官僚組織から水平組織に変えることには多くのメリットもありますが、例えば礼儀正しさ、家庭的な暖かさ、長幼の序への配慮、高水準の倫理観を失いつつあるのではないかと。人材の流動化もその一因となっている社員教育の簡略化、たとえば、たった3日の新任社員教育、技術・技能教育の廃止などがもたらす影響は、上記の良風の消失に拍車をかけると共に、プロと言われる人の極端に少ない社会に変貌させてしまうのではないかと。それを私は危惧しています。

フレンズ (1)

「トシ、遂に家の庭にもロビンが来たよ。お宅はまだ？」とイヴォンヌが嬉しそうに家内に話し掛ける。ジル・ピーターソンも「うちに来たのはもう3日も前だったわよ」と少し誇らしげだ。

ニューケイナン、コネチカットの春は晩い。長い冬が終わり、春の到来を告げるコマドリの群れが庭に現れるのを待ちわびる気持ちが、少しずつわかってきたのは2年目の寒い冬が過ぎてからだった。

確かにニューイングランドの冬は陰鬱だったが、その代わりに春から初夏の季節の美しさ、すがすがしさと云ったらなかった。それこそスイセン、チューリップ、レンギョウからプラム、ピーチ、サクラ、サンザシの花や、やがてモクレン、ハナミズキ、ミモザ、ライラックの大きく育った木が緑の芝生に映えて一斉に咲き誇るのだ。丁度その頃になるとミード公園で恒例のテニスミックスダブルス、タウントーナメントが盛大に開かれる。我々は頑張ってなんと3位に入賞し、晴れがましくも町の新聞にも大きく紹介された。ちなみに優勝はカナダ人のリサ・ジョン夫妻で、リサは昔カナダのランキング14位だったそう。準優勝は南アフリカから来たブリジターが町の中華料理店の2世の息子と組んで、これも強かった。私の実力から云って、我々の3位はブロックだった。事実その後、家内にはテニスコーチも含め数人から組んでトーナメントに出ようとオファーがあったが、「貴方の為に私は断ったのよ」と後々まで云われたものだ。表彰式は公園内の幼稚園（これは昔金持ちのミード伯母さんが馬車に乗ってニューヨークまで出掛けた頃の馬車小屋でキャリッジバーンと呼ばれていた）で、ジャケットアンドタイのパーティーだった。こうして我々は他に日本人の居ないちっぽけな町で少しずつ受け入れられて多くの友人と巡り合った。

キャリッジバーンと云えば、キムさん夫妻が中心になり、ニューヨークから若手を呼んでコンサートが開かれた。幼稚園の講堂の真中に演台があって、我々はプレイヤーをぐるりと囲んで（丁度サントリーホールが似た形式だが、あれは特別上等）、園児の椅子に座り、暖房が切れているので、マフラーとコートを付けたまま、音楽を楽しんだ。音楽がはねるとキムさん宅ですし詰めのパーティー。そこで日本から来たヴァイオリニストともお逢いしたりした。

ジュディーとチャーリー（彼はIBMの幹部社員だったが、テキサスカアラスカの営業所長と云われて、態良く首になった）の家に呼ばれた時は最初面食らった。何しろピーナツとサラダ（生のニンジンとセロリをディップして食べるやつ）が出た後、今日はピザパーティーだからお前達は何がいいか注文してくれ、今から買いに行ってくるよといった案配だ。ジュディーの手料理は結局サラダとデザートアイスクリームだから、一体どちらをどんな風に誉めたら良いのか苦労した。二人とも底抜けに人が良くて、テニスでは好敵手だった。

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

[会長] 大日方真 [副会長] 谷村義雄 [幹事] 新保國彦

[会報委員長] 小杉真史 [今週の担当] 後藤完夫

 事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
 例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111